

一般社団法人 日本知的障害者チアリーディング協会

2021年度 事業報告書

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月 31日

I 組織運営と事業報告

本年度は、2019年度末から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、計画した事業の中止や延期を余儀なくされることもありましたが、集合形式の講習会を開催することも出来ました。

集合形式、オンライン形式にて事業を進めた経験を活かし、次年度へ活かすため内容の再検討を進めていきます。

II 2021年度計画に定めた事業

予定した講習会全てを行うことは叶わなかったが、講習会やその他の活動で広がったネットワークを活用しながら、次年度の講習会がより良い内容となるよう、検証や意見の聴取を行っていきます。

<競技>

1. 知的障害者チアリーディング競技を周知する活動

(1) 初級指導者講習会の開催

2021年10月に第一回初級講習会を集合形式にて開催。公益社団法人東京都障害者スポーツ協会様に協力を賜り、チアリーディング関係者だけでなく、障害者スポーツにご関心を持った方にもご受講いただくことができました。

2022年2月の第二回開催については、新型コロナウイルス感染拡大により、オンラインにて実施となりましたが、それにより首都圏以外の方にもご受講いただくことができ、次年度以降の講習会開催に関して、可能性の広がりを感じることができました。

(2) 競技ルールに関する委員会設置

将来の競技会開催を念頭に、正しい知識を共有し、安全な練習を行ってもらうために、ルールの検討を行うルール策定委員会を設定しました。知的障害者チアリーディング従事者や審美系のスポーツ従事者等、有識者・有志メンバーが集まり、活動を進めています。

(3) 会員登録（団体・個人）を開始

各地のチーム活動や各チームの取り組み状況を把握するため会員登録（団体・個人）を開始しました。団体・個人ともにお申込みいただき、当協会の把握できていなかった活動チームと繋がることの実現しました。

(4) チアリーディング関係者以外への情報交換

障害者スポーツに関わる事業や団体との交流を実施しました。競技特性でもある「応援」について新型コロナウイルス感染の終息後に各競技とコラボレーション出来る事を目標として、今後も情報交換を進めてまいります。

(6) 国内競技体系、連絡体制の構築

事業に関する団体・協会とミーティングや情報共有を進め、関係を構築することができました。

<普及>

2. レクリエーション・余暇としてのプログラム作成

(1) チアリーディング競技団体以外の団体との連携活動

新型コロナウイルス感染拡大により、次年度へ持ち越されましたが、大学や総合型地域スポーツクラブとの連携にて、体験会を企画いたしました。東京オリンピック・パラリンピックを契機とした障害者スポーツの認知拡大のため、ご関心をお寄せいただいた団体と協働で競技普及を進めてまいります。

<事務局>

3. ガバナンスコードに則した組織体制の検討と整備

(1) 今年度設置予定の委員会、部会の規程策定

競技に関するルール策定員会を設置しました。運用等の課題から、必要な役割を洗い出し、委員会・部会を設置していくよう、精査を行っています。

(2) 協会運営に関わる運営ルールの整備

規程類・内規等を定め、運用を始めています。実際に事業が開始された際に不足が無いよう、運営を見直し、各種規程の整備を進めていきます。

(3) 会員登録制度の開始・運用

個人会員 14 名、団体会員 4 団体、登録いただきました。会員登録制度の周知を行うとともに、会員登録いただいた個人会員・団体会員に活動状況等を報告・告知できる仕組みづく

りについて次年度以降検討していきます。

4. 組織運営等に関する基本計画の策定

(1) 組織運営に関する中長期基本計画の掲載

ガバナンスコードに関する事項についての整備に遅れが生じたため、次年度中に完成させ、コロナの状況を見据えながら中長期基本計画の策定を目標としています。

(2) 組織運営の強化に関する人材発掘及び育成に関する体制の充実

ボランティアスタッフへのお問合せを多数いただき、活動場所の準備を進めて行く中、事務局側の組織運営に関わる人材の不足が課題となり、募集を行っています。

(3) 財務の健全性確保に関する計画の実行

事業の実施、運営に係る資金確保のため、事業収益確保や助成金の申請等を計画的に行う試みをいたしました。